



# 2009年度 第2四半期決算説明会

## イオンディライト株式会社

代表取締役社長 堤 唯見

2009年10月6日

### 目次

§ 1 2009年度第2四半期の実績

§ 2 2009年度の基本方針とその戦略

§ 3 2009年度業績予想

§ 4 参考資料

# §1 2009年度第2四半期の実績



## 第2四半期決算のポイント

### 厳しい経済環境下でほぼ計画どおりで進捗

経常利益・四半期純利益は公表数値を達成

売上高・営業利益は公表に対し若干の未達

単位:百万円

	2009年度第2四半期累計				
	期首予想数値	実績数値	売上比 (%)	公表比 (%)	前期比 (%)
売上高	74,000	72,856	100.0	98.5	99.4
営業利益	4,900	4,882	6.7	99.6	96.2
経常利益	4,800	4,856	6.7	101.2	97.5
四半期純利益	2,480	2,591	3.6	104.5	95.9

※対前年比は参考として記載しております。

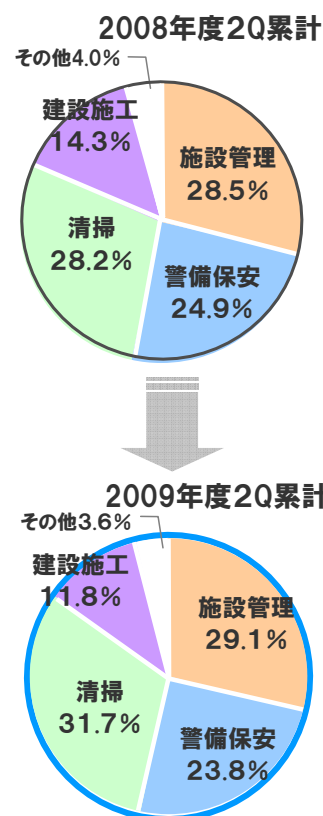


# セグメント別売上構成

## ◇コア化を推進する清掃事業が2桁成長

単位:百万円

	2009年度2Q累計	2008年度2Q累計	前期比 (%)	増減額
施設管理事業	21,227	20,912	101.5	315
警備保安事業	17,328	18,255	94.9	▲926
清掃事業	23,071	20,684	111.5	2,387
建設施工事業	8,585	10,496	81.8	▲1,910
その他	2,640	2,916	90.5	▲277
売上高合計	72,856	73,265	99.4	▲410



◇「その他」は、ビルメンテナンス部門その他事業とその他営業収入を合算したものです。

## (要約)第1・第2四半期連結損益計算書

単位:百万円

	2009年度				2008年度		
	金額	売上比 (%)	前期比 (%)	増減額	金額	売上比 (%)	
第1四半期	売上高	36,758	100.0	99.5	▲182	36,940	100.0
	売上原価	31,456	85.6	99.5	▲162	31,618	85.6
	売上総利益	5,302	14.4	99.6	▲19	5,321	14.4
	販管費	2,863	7.8	104.7	128	2,735	7.4
	営業利益	2,439	6.6	94.3	▲147	2,586	7.0
	経常利益	2,447	6.7	96.2	▲97	2,544	6.9
	当期純利益	1,344	3.7	93.2	▲98	1,442	3.9
第2四半期	売上高	36,098	100.0	99.4	▲227	36,325	100.0
	売上原価	30,732	85.1	98.9	▲355	31,087	85.6
	売上総利益	5,366	14.9	102.4	128	5,238	14.4
	販管費	2,923	8.1	106.3	172	2,751	7.6
	営業利益	2,443	6.8	98.2	▲44	2,487	6.8
	経常利益	2,410	6.7	99.0	▲25	2,435	6.7
	当期純利益	1,247	3.5	99.0	▲13	1,260	3.5

# (要約)連結貸借対照表 連結キャッシュフロー計算書

## 連結貸借対照表

単位:百万円

	2009年 8月31日現在	2009年 2月28日現在	増減額		2009年 8月31日現在	2009年 2月28日現在	増減額
流動資産	28,034	30,150	▲2,115	流動負債	16,841	20,131	▲3,290
固定資産	19,100	18,885	215	固定負債	1,001	824	176
有形固定資産	2,538	2,602	▲63	負債合計	17,842	20,956	▲3,113
無形固定資産	12,265	12,623	▲358	純資産合計	29,293	28,079	1,213
投資等	4,296	3,658	637	負債・純資産合計	47,135	49,035	▲1,900
資産合計	47,135	49,035	▲1,900				

## 連結キャッシュフロー計算書

単位:百万円

	2009年度2Q累計	2008年度2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,275	3,906
投資活動によるキャッシュ・フロー	81	▲1,664
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,708	▲2,646
現金及び現金同等物の増減額	▲1,348	▲402
現金及び現金同等物の期首残高	6,970	7,657
現金及び現金同等物の期末残高	5,621	7,255

### 営業活動CF

税引前当期純利益	47.8億円
未払金減少額	▲8.6億円
法人税等支払額	▲約23.3億円

### 投資活動CF

定期預金減少額	7.1億円
関係会社消費寄託 の返還額	9.0億円

### 財務活動CF

短・長期借入金減少額	▲17.1億円
将来債権流動化資金減少額	▲15.0億円

AEON delight 

## §2 2009年度の基本方針とその戦略

AEON delight 

# 2009年度基本方針

継続的な企業価値向上を目指し、成長と品質の両輪を強化・拡大

## 成長のマネジメント

- ▶ 営業拡大に向けた取り組みの強化
- ▶ 環境事業本部を新設 → 第4の事業の柱へ
- ▶ 海外展開 北京から華南へ向け準備

## 品質のマネジメント

- ▶ 清掃事業コア化水平展開の集大成
- ▶ 人時生産性向上の取組継続
- ▶ 清掃事業に続くコア化  
施設事業チーム・警備事業チームの発足

## 2009年度の取り組み(成長のマネジメント①)

### 営業拡大に向けた取り組み

#### 営業本部の再編

全国展開企業をターゲットに営業活動を拡大

- ① 全国ネットでの対応力
- ② 省エネ提案を含む仕様設計の提案力
- ③ スケールメリットによるコストダウン
- ④ 標準化された品質

#### 全国規模の企業へ アプローチ

お客さまのニーズを実現するサービスの提供

- ① 全国ネットの広範囲
- ② 経験に裏打された技術力
- ③ 建物環境を多角的に配慮した多様なサービス



全国7支社間の連携  
組織再編⇒営業本部と  
地域営業部を結ぶ

#### 情報の共有化

営業ルート開発・攻略  
協力・支援体制の強化



#### 既存顧客 フォローアップ

一件の受託から、  
様々なサービスのご  
提案へ

一件のお客さまから、  
その他地域へ



## 2009年度の取り組み(成長のマネジメント②)

### 新規就業



マルハン様  
北海道32店舗・青森9店舗



ペルチ土浦  
(JR東日本様)



COCOEあまがさき緑遊新都心

イメージ図

ラウンドワン様  
東日本地区 35店舗



(麒麟ホールディングス様)  
2009年10月20日グランドオープン



イオンモール広島祇園



## 2009年度の取り組み(成長のマネジメント③)

### 海外事業の更なる飛躍

#### 海外事業における規模拡大の実現

- 中国において多店舗を受託できる体制の構築
- イオン北京国際商城の実績を活かした華南地区・天津地区への展開
- ベトナムをはじめとする東南アジアなどアジア戦略の推進



イオン北京国際商城SC



イオン順徳SC



# 2009年度の取り組み(成長のマネジメント④)

## 当社独自の環境負荷低減モデルの確立へ

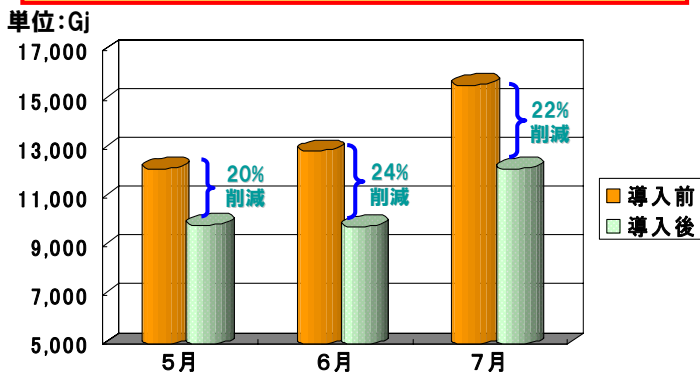
- PLAN→
- 各種省エネ対策の立案・検証
- DO→
- 各種既存設備の設定を変更・調整
  - 時間別のエネルギーデータをもとにムダを改善
- CHECK→
- 省エネ機器運用状況の診断
- ACTION→
- データ管理による従業員の意識向上

- 照明の効率化
- 熱源更新とBEMS運用改善
- キャノピー照明 ・LED照明

CO<sub>2</sub>排出量削減とともに  
水光熱費の削減としても効果が



### 大型商業施設における省エネ実証データ 3ヶ月平均で22%の削減



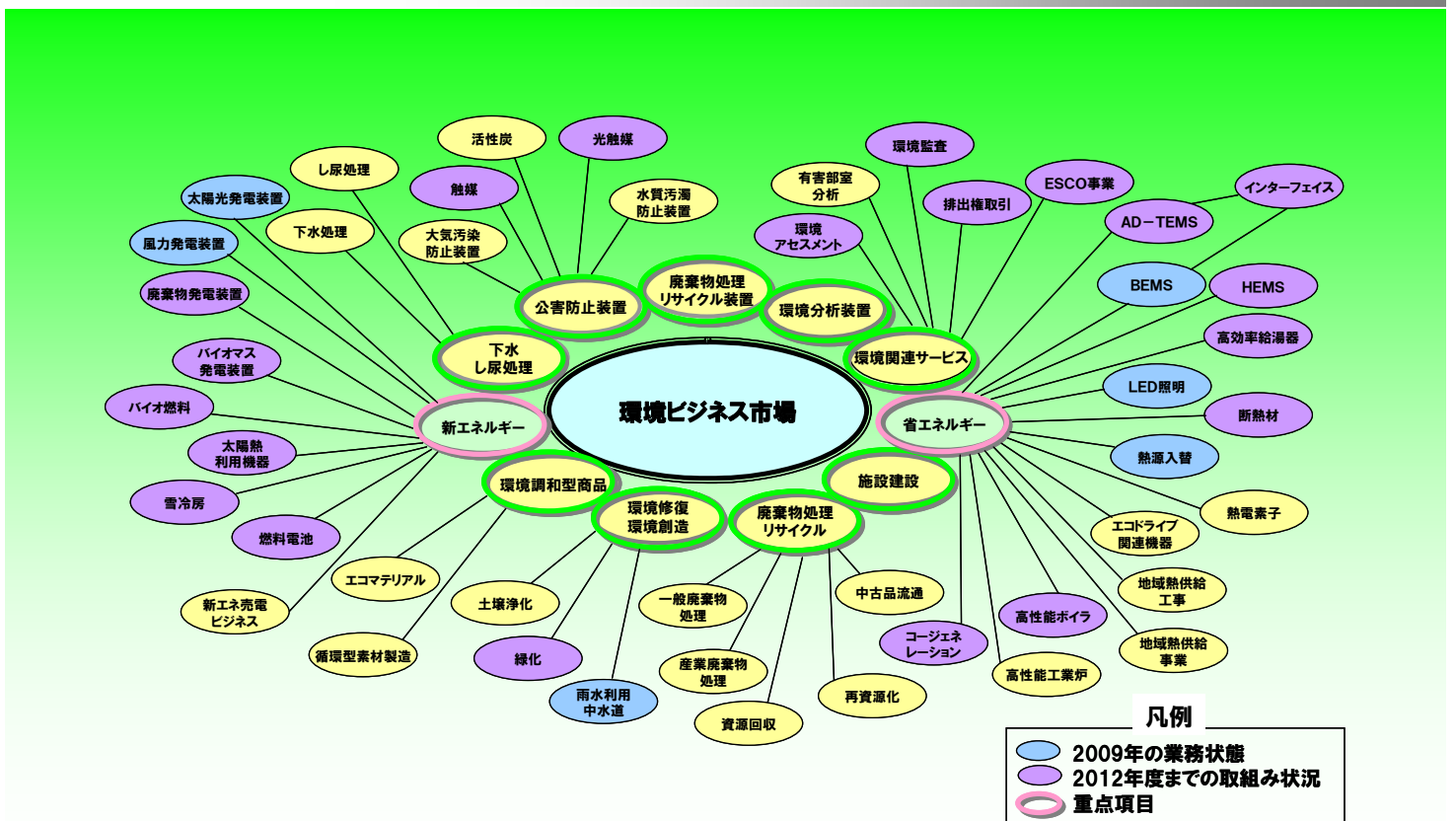
### 施策別省エネ対策削減額累積

導入後3ヶ月で  
累積1,100万円削減



# 2009年度の取り組み(成長のマネジメント⑤)

## 総合的な環境負荷低減へ環境事業本部を新設



## 2009年度の取り組み(成長のマネジメント⑥)

### M&A戦略の更なる推進

#### M & Aのシナジー発揮へ

#### 連結子会社への切替による収益向上



近畿全域の大型から小型までフルラインサービスの清掃を提供  
コンビニ定期清掃での独自ノウハウは業界屈指の技術力と生産性



関東以北をフィールドに創意工夫とたゆまぬ研究開発が生んだ高品質のサービスを提供



#### 完全子会社化

- 環境整備(株) 2009年6月
- (株)ドゥサービス 2009年9月

## 2009年度の取り組み(品質のマネジメント①)

### 清掃事業コア化第2四半期までの成果

- 「清掃事業コア化」の取り組みを全国61店舗へ水平展開

#### 徹底した効率化により作業時間の大幅な短縮を実現

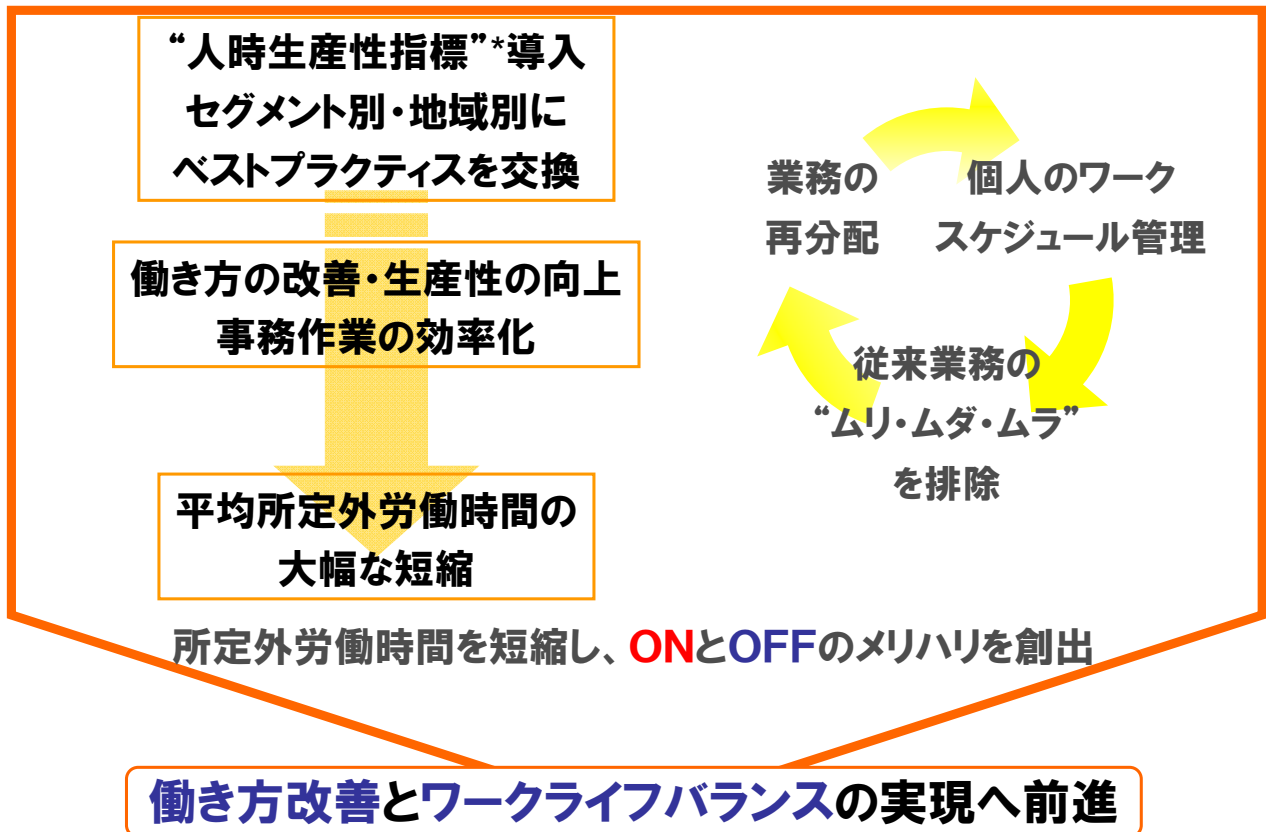
- 多様な顧客ニーズに対応する清掃方法への切り替え
- 一人ひとりの清掃能力・働き方への意識が向上
- 技術とマネジメント力を併せ持った清掃プロフェッショナル人材の育成
- 委託先・子会社との“清掃理念”“品質標準”“生産性向上技術”の共有化に着手

品質をともなう生産性の向上で収益性の向上にも貢献



## 2009年度の取り組み(品質のマネジメント②)

### 人時生産性指標の導入効果



\*従業員一人当たりの時間当たり売上総利益

AEON delight 

## 2009年度の取り組み(品質のマネジメント③)

### イノベーション、産業化に向けた取り組み

産・官・学共同による技術革新の推進 「サービス工学」の確立を目指して、  
2010年2月 イオンディライトアカデミーながはま 開所予定

- 年間延べ15,000名の研修プログラム
- 環境ソリューション人材の育成
- 高生産性”新”清掃事業モデルの構築に向けた共同研究
- エネルギー効率・水質汚濁など環境負荷低減の研究
- 地域にも開かれた研究、研修施設



環境ビジネス分野の成長を支える「環境人材」を育成します

AEON delight 

## §3 2009年度業績予想

### 2009年度業績予想

## 4期連続増収・増益を目指します

単位：百万円

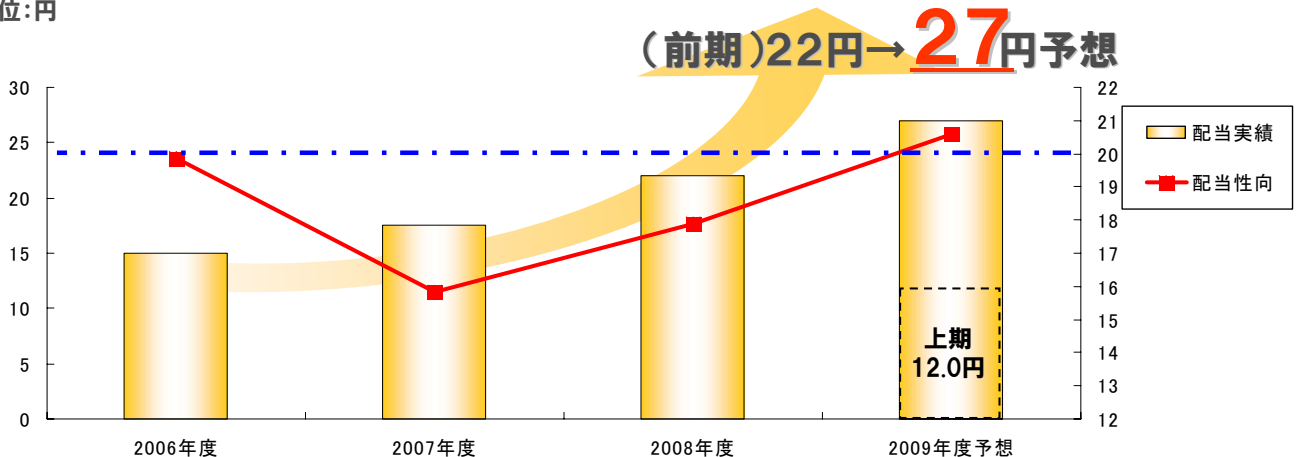
	2009年度予想			2009年度第2四半期実績	
	金額	売上比 (%)	前期比 (%)	金額	売上比 (%)
売上高	150,000	100.0	103.0	72,856	100.0
営業利益	10,100	6.7	101.5	4,882	6.7
経常利益	9,900	6.6	100.9	4,856	6.7
当期純利益	5,200	3.5	106.6	2,591	3.6

誕生以来**4期連続**の増配を目指します  
増配率は**2期連続2割超**

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度 2Q期末	2009年度 期末予想
配当額	15.0円	17.5円	22.0円	12.0円	15.0円

2009年度通期予想 配当性向 **20.6%**

単位:円



※当社は2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。  
2005年度期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当金額です。

来期以降(中期)の経営計画を策定中

激変する経営環境(政治・経済・社会)



変化に対応した企業体制の構築

“成長”

- 変化する経済環境を  
ビジネスチャンスに
  - ・新しい清掃モデル、エネルギーコスト削減等による「提案力」発揮
  - ・コア事業に注力する企業からのノンコア事業の受託
- 環境負荷低減ビジネスの拡大
  - ・建物を管理する立場から、省エネ・新エネルギー等の総合提案
  - ⇒ 経営資源の重点配分

“品質”

- 新しいビジネスモデルの構築
  - 新清掃モデル・人時生産性
  - ↓
  - 施設管理事業、警備事業でも、
    - ・IEやサービス工学の適用
    - ・イノベーションやITによる省力化・省人化
- 競争力のある企業体質へ
  - ・グループシナジーの実現
  - 組織の効率化・経費削減

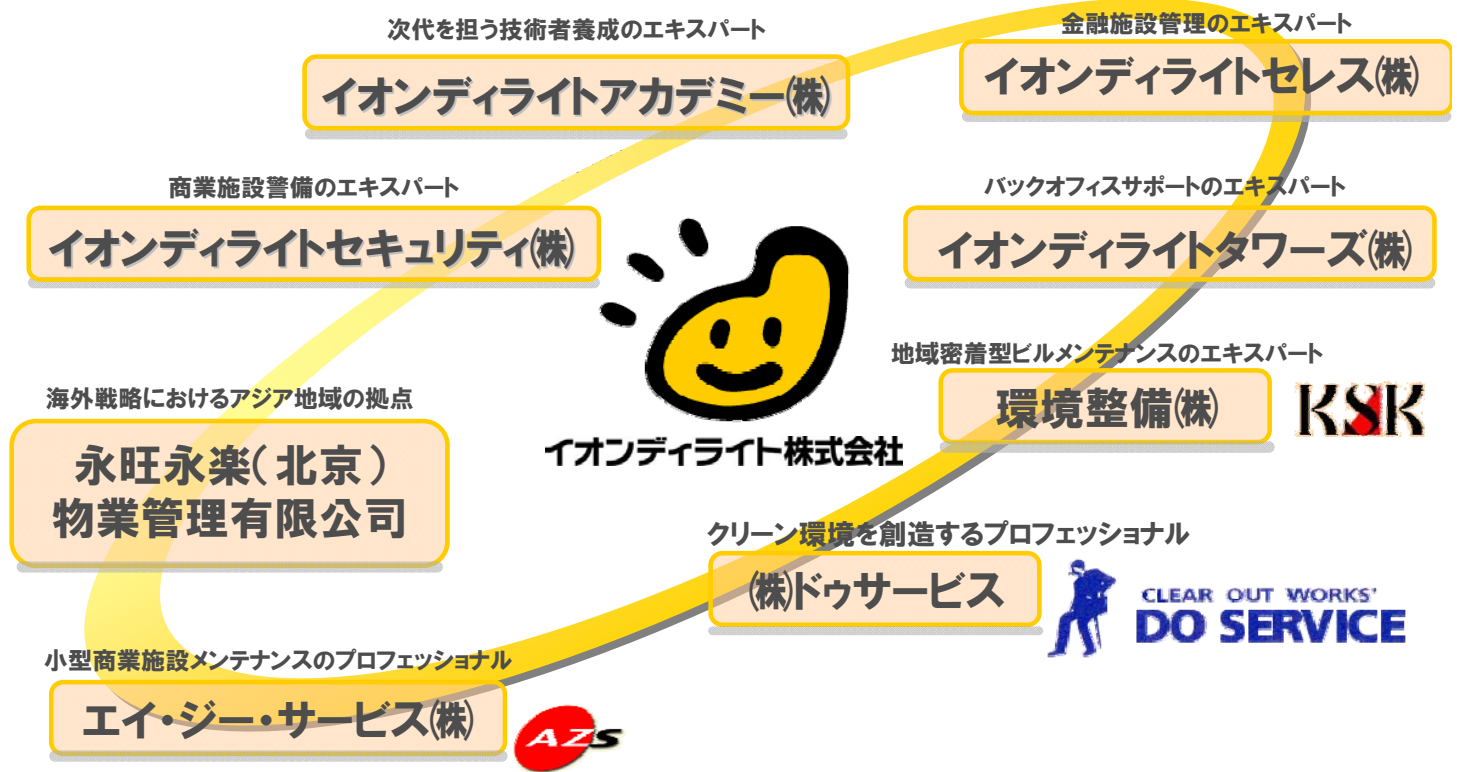
### ディライトウェイ — 経営理念 ビジョン —

イオンディライトは、  
お客さまの「環境価値」を創造し続けます。



安全・快適を常に進化させる  
「環境価値」創造のパイオニアとなる。

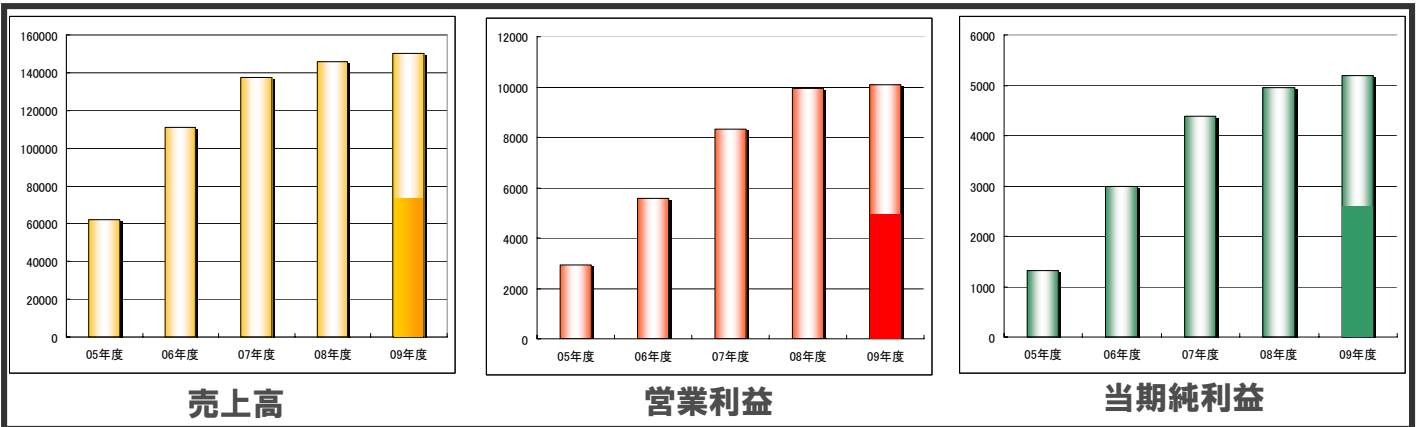
## 新たに(株)ドゥサービスがグループに加わり、国内8社・海外1社に成長



### (ご参考) 損益推移

#### 1. 推移グラフ

単位:百万円



#### 2. 損益の推移

単位:百万円

	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		2009年度予想	
	実績	前比 (%)	実績	売比 (%)	実績	売比 (%)	実績	売比 (%)	予想	売比 (%)
売上高	62,323	100.0	111,170	100.0	137,519	100.0	145,690	100.0	150,000	100.0
営業利益	2,949	4.7	5,576	5.0	8,330	6.1	9,946	6.8	10,100	6.7
経常利益	2,953	4.7	5,485	4.9	8,186	6.0	9,812	6.7	9,900	6.6
当期純利益	1,324	2.1	2,998	2.7	4,379	3.2	4,876	3.3	5,200	3.5

(ご参考) 経営指標

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度 第2四半期
EPS(一株当り当期純利益)	151.17円	110.39円	※ 122.92円	半期)65.32円
ROE(自己資本当期純利益率)	16.85%	21.03%	19.89%	半期) 9.32%
ROA(総資産当期純利益率)	7.62%	9.17%	10.11%	半期) 5.39%
売上高経常利益率	4.93%	5.95%	6.74%	6.67%
売上高当期純利益率	2.70%	3.18%	3.35%	3.56%
総資本回転率	2.83回	2.88回	3.02回	半期) 1.52回
自己資本比率	39.87%	47.43%	54.15%	61.65%
1株当り純資産	966.41円	566.87円	※ 669.28円	707.56円
PER(株価収益率)	20.51倍	19.79倍	10.29倍	10.44倍
PBR(純資産倍率)	3.21倍	3.85倍	1.89倍	1.93倍
(ご参考)期末株価	3,100円	2,185円	1,266円	1,364円

※印は株式分割後の指標で表示しております。



(ご参考) 従業員の状況

1. 従業員数の推移

単位:名

		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度 第2四半期
正社員	男性	2,306	2,396	3,810	4,013	4,642	4,110
	女性	157	184	367	378	564	504
	計	2,463	2,580	4,177	4,391	5,206	4,614
契約社員 嘱託社員	男性	745	606	1,094	1,379	1,248	1,685
	女性	131	132	133	136	107	144
	計	876	738	1,227	1,515	1,355	1,829
パートアルバイト		2,499	2,444	2,834	2,652	3,333	3,761
合計		5,838	5,762	8,238	8,558	9,894	10,204

2. 平均年齢の推移

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度 第2四半期
平均年齢(才)	41.8	44.1	45.2	46.9	47.1	47.0

◇上記は2009年8月末日のデータであり、パート・アルバイト欄の人数は月間172時間労働とした場合の人数です。  
パート・アルバイト総数は7,768名であり、正・契・嘱6,443名を加えた全従業員数計は14,211名となります。



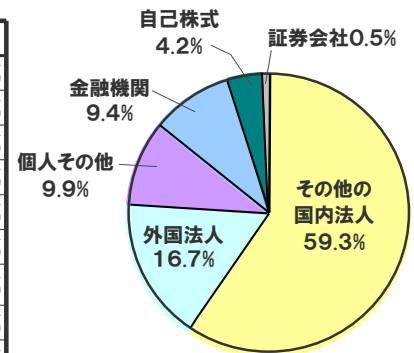
# (ご参考) 株主・株価の状況

## 1. 大株主の状況(上位10社)

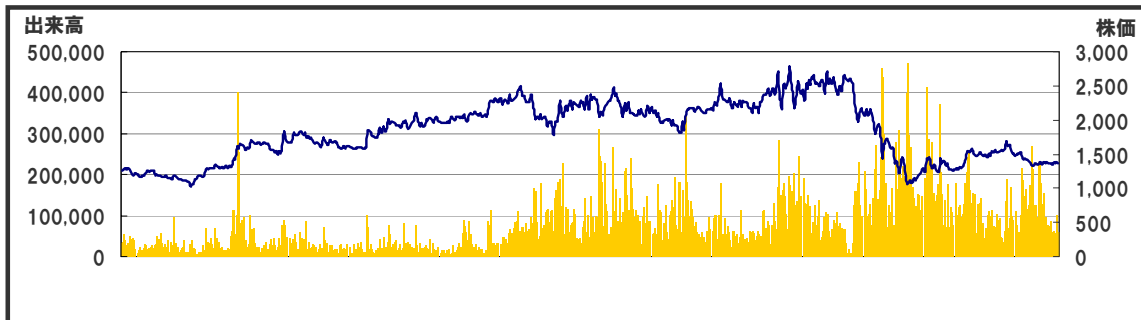
所有比率は発行済株式に対する比率です。

順位	株主名	所有株式数	所有比率
1	株式会社マイカル	23,261,800	56.2%
2	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,111,700	5.1%
3	自己株式	1,729,736	4.2%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	922,800	2.2%
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	911,300	2.2%
6	イオンディライト従業員持株会	587,400	1.4%
7	日本マスタートラスト信託銀行株式会社	575,500	1.4%
8	イオン株式会社	560,800	1.4%
9	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	394,700	1.0%
10	資産管理サービス信託銀行株式会社	336,000	0.8%

## 2. 所有者区分(比率)



## 3. 株価推移(2006年9月1日-2009年8月31日)



項目	内容
最高値	(2008.10.20) 2,785円/株
最安値	(2006.11.21) 1,025円/株
最大出来高	(2009.2.9) 460,700株

◇上記は2009年8月末日時点のデータです。また2007年11月30日以前は分割後の株価に換算しています。



## 注意事項

■この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

◇これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。

そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

◇全て連結を対象として記載

◇記載金額は百万円未満を切り捨て

◇比率は小数点第2位を四捨五入

※当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。



本日は、ご清聴頂きまして誠にありがとうございました。  
ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。

# イオンディライト株式会社

(証券コード:9787)

IR担当連絡先 部署名:ディライトコミュニケーション部

責任者名: 指 江 (サシエ)

TEL 06-6260-5632

FAX 06-6260-5653

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<http://www.aeondelight.co.jp>

※FAX送信される方は、お名前とご返答用連絡先を必ずご記入ください。

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2009年10月6日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。